

第 19 回宮城県作業療法学会 演題募集

I. 応募資格

演題応募資格（筆頭演者）は宮城県作業療法士会会員に限ります。

II. 演題発表形式および募集内容

(1) 一般演題

- ・口述発表：発表 7 分、質疑応答 3 分
 - ・ポスター発表：発表 7 分、質疑応答 3 分
- 事例紹介および実践的取り組み紹介、研究報告等ジャンルは問いません。

(2) 事例報告：発表 20 分、質疑応答 10 分

現職者共通研修「事例報告」への読み替えが可能です。

※ 学会発表の経験のない方でも主体的参加がしやすいよう学会がサポートいたします、初めての方でもご相談ください。

III. 演題発表形式

- (1) 口述発表、及び事例報告
- (2) ポスター発表

IV. 応募期間と演題応募の流れ

- (1) 演題応募 締め切り：平成 30 年 6 月 15 日（金）
演題発表の申し込み（意思表示）用紙、19 回 DL①
- (2) 演題タイトル登録、演題概要送付 締め切り：平成 30 年 7 月 9 日（月）
タイトル登録、演題概要（100 文字程度）を行います。用紙、19 回 DL②
- (3) 抄録登録 締め切り：平成 30 年 9 月 21 日（金）
抄録登録を行います。用紙、19 回 DL③

※ 尚、(2) 申し込み後に演題採択の為の査読が行われます。また (3) でも査読が行われ必要に応じ修正を行って頂きます。

※ 一般演題の学会プログラムへの掲載は、演題タイトルと演題概要となります。

※ 抄録は宮城県士会 HP に期間限定で公開となります。

V. 演題応募手順

(1) 演題応募

第 19 回宮城県作業療法学会ホームページより『発表申し込み用紙』（19 回 DL①）をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の「演題応募係」を締切り日（平成 30 年 6 月 15 日）までに、E-mail にて送信ください。E-mail の件名には「第 19 回宮城県作業療法学会 演題応募」と記入ください。

(2) 演題タイトル登録

発表登録の後、第 19 回宮城県作業療法学会ホームページより『演題タイトル』（19 回 DL②）をダウンロードします。演題概要と演題タイトルを締切り日（平成 30 年 7 月 9 日）までに、E-mail に添付し送信ください。E-mail の件名には「第 19 回宮城県作業療法学会 演題タイトル登録」と記入し送信ください。

(3) 抄録登録

演題採択後、抄録作成要項を参考に抄録作成をお願いします。また、参考となる書式を学会ホームページに掲載いたしますので、ダウンロードしご利用ください（19 回 DL③）。抄録登録締め切り（平成 30 年 9 月 21 日）までに、E-mail に抄録を添付し、件名に「第 19 回宮城県作業療法学会 抄録登録」と記入し、送信ください。

VI. 抄録作成要項

A4 版 1 枚で（2 段組：1 行 24 文字以内×40 行、900 から 1,700 文字程度）、文字は全角（MSP 明朝体、本文は 10.5 ポイント、題字は左揃えで 12 ポイント）とします。英数字は半角とします。なお、文字数にタイトルは含みません。

抄録トップのタイトル欄には、演題タイトルと氏名、所属、キーワード 3 個を記入してください（日本作業療法士協会ホームページにキーワード集が掲載されていますので参考にすることができます）。

本文には【目的】【方法】【結果】【考察】【まとめ】等の小見出しをつけてください。小見出しは左揃えとし、その両端には【 】をつけて囲み、必ず改行してください。また図表は入れないでください。

基本的に抄録の作成は Microsoft Word を使用して作成してください。その他のワープロソフトを利用する場合はご相談下さい。

作成した抄録は E-mail にて添付ファイルで送信してください。それ以外の方法を希望する方は、問い合わせ先にご連絡ください。

VII. 演題論文の使用権について

演題論文の二次使用権・許諾権は、（一社）宮城県作業療法士会に帰属します。

VIII. 演題内容に関わる倫理的事項について

(1) 対象者の同意について：下記の倫理的事項を遵守し、本文中に倫理的配慮について記載してください。特に対象者の同意についての記載は必須です。

(2) 最大限の倫理的配慮：研究の計画・実行・分析・演題作成等の過程において、個人の尊厳、人権の尊重等の倫理的配慮を十分に行い、各大学・病院等に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載してください。

(3) 著作権等への配慮：他の著作物からの引用を行うときには、本文中に出典の著者と発行年数（フルネーム、西暦）を明記し、著作権を侵害しないように注意してください。

(4) 学会長の要請に対する協力：学会長から、演題内容に関する倫理的配慮を証明する文書の提出や説明を求める場合があります。その場合はご協力願います。

(5) 利益相反（COI）の申告：発表演題に関連して、企業や営利団体等から金銭等の提供を受けた場合や受ける予定がある場合には申告する必要があります。登録時に利益相反の有無を申告し、発表時に利益相反の有無を述べてください。

IX. 応募演題の採択について

(1) 最終的な採否は以下の採択基準に従って、学会長と演題査読委員会の協議のもとに決定いたします。なお、採択された演題の取り消しはできません。

- 1) 演題内容に関わる倫理的事項が遵守されている。
- 2) 論文構成や表現などが適切である。
- 3) テーマや内容に創造性や独自性があり、作業療法の発展に貢献すると判断される。
- 4) 方法・器具等が具体的に記載されている。
- 5) 同一演題名で他学会等において発表されていない。
- 6) 本学会の「演題募集要項」が遵守されている。

(2) 採択結果の通知は、募集締め切り後の一ヶ月を目途に、学会側より発表日時を記入した電子メールにより筆頭演者連絡先宛に直接通知いたします。

X. 演題採択基準

1. 発表の質

発表は以下のように項目とその内容が構成的に記載されているか（以下は発表の構成例です。必ずしも構成例の通りに記載する必要はありません）。

- 1) 序論：発表の背景（先行研究の成果や残されている課題）、発表の重要性や必要性が述べられているか。
- 2) 目的：発表で何を明らかにするのか、具体的な方法が述べられているか。
- 3) 方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は発表の目的に合致しているか。倫理手続きが述べられているか。

- 4) 結果：実践や介入の結果が示されているか。
- 5) 考察（結論）：得られた結果が論理的に説明されているか。発表の重要性や問題点，社会に果たす貢献などが述べられているか。

※事例報告や実践報告に関しては，項目を明確にして構成的に述べられているか。

2. 専門性

- 1) 発表は作業療法の発展に貢献するか。発表の内容は作業療法と関連しているか，実践のレベルを高めたりするのに役立つ発表か。
- 2) 作業療法を発展させるユニークな発想や，オリジナルな視点（斬新さや革新性）はあるか。

3. 倫理的配慮

- 1) 発表は個人情報を守り，対象者からインフォームド・コンセントを得て行われているか。また，当該機関の承認を得ているか。

4. その他

- 1) 同一，または極めて類似した内容で他学会等において発表されていない。
- 2) 本学会の演題募集要項が遵守されている。

5. 演題審査方法

「IX. 演題採択基準」に基づき，審査員の査読により「採択」，「修正後採択」，「不採択」の判断を行います。最終的な採否判定は，学会長が行います。

6. 審査員コメント

審査の結果，「修正後採択」，「不採択」になる可能性があります。「修正後採択」の場合は，審査員からの修正理由に関するコメントが応募者に通知されます。「不採択」の場合は，審査員が今後の発表や抄録の改善に役立つコメントを記入します。コメントは応募者に通知されます。なお，コメントは学会長が修正することがあります。

X I . 演題発表

演題発表を行うセッションは，学会実行委員会が決定いたします。

X II . 応募先・問い合わせ先

<応募先：演題・抄録受付>

E-mail : miyagiot19kai2018@yahoo.co.jp

<問い合わせ先>

〒981-3206

仙台市泉区明通 2-1-1

仙台保健福祉専門学校 作業療法科 相澤祐一 行き

TEL : 022-378-3301 (代表) Fax : 022-378-3332

E-mail : y.aizawa@sugawara.ac.jp